

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	80	—	事業名	消防補助事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
------	----	---	-----	--------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する	款	8	消防費
		施策の進め方	2	地域消防防災力の強化	項	1	消防費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	1	常備消防費
		政策分類	6	地域の安心安全をみんなでつくる	大事業	7	消防補助事業
	その他(関係法令、要綱等)	長久手市補助金等交付規則、長久手市危険物安全協会への補助金に関する要綱、長久手市女性消防クラブ補助金交付要綱					
事業開始の背景、経緯等	それぞれの団体の設立時から事業支援として補助金を交付し、現在も継続実施している。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市危険物安全協会及び長久手市女性消防クラブが実施する事業経費について、補助金の交付を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手市危険物安全協会及び長久手市女性消防クラブ					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 団体が実施する事業の経費を補助することで、災害の発生防止等の事業が、推進できるよう支援する。					
	事業を構成する事務事業	① 消防補助事業	縮小	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	予算 決算	<del>450</del> 433	450 450	450 450	450 450	350
人件費(B)	千円	決算	<del>229</del>	229	229	242		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	<del>662</del>	662	679	692		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 市内危険物起因事故発生数	件	目標 実績	- 0	- 0	0 0	0 0	- -
B クラブ活動参加延べ人員	人	目標 実績	- 246	- 232	200 256	250 264	250	
C クラブ活動事業	回	目標 実績	- 40	- 37	30 39	35 41	35	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 危険物に起因する事故等の発生件数により、団体が実施する事業の効果が把握でき、補助金の有効性を判断できる。								
B 女性消防クラブ員の活動参加人数により、クラブ員個々の活動姿勢が把握でき、補助金の有効性を判断できる。								
C 女性消防クラブの活動事業数により、団体としての事業展開が把握でき、補助金の有効性が判断できる。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣他市においても同様な補助事業を実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 危険物事故はなく、目標を上回った。 女性消防クラブは、積極的な活動参加があり、目標を上回った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) それぞれの団体で成果は挙がっているが、長年積み重ねてきた事業のみであり、今後の事業展開に課題を残す。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 危険物安全協会への補助事業は、本市事業から尾三消防組合へ移行した。 女性消防クラブは、事務局が新体制になることと、拠点が消防庁舎から市役所に移ることで、事業活動に支障がでることが予想されるので、現状を見定める必要がある。
	中長期の目標	(いっごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 今後のクラブのあり方を含め検討していく必要がある。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		消防補助事業										
番号	①	事務事業名	消防補助事業		款	8	項	1	目	1	大事業	7	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和60年度		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市危険物安全協会及び長久手市女性消防クラブの実施する事業経費に対し、補助金を交付している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 団体が実施する事業の経費を補助することで、災害の発生防止等を推進する事業が実施できるように支援する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算		450 433	450 450	450 450	350
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 女性消防クラブ補助金						350	千円
② 危険物安全協会補助金						100	千円
③							千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
危険物事故発生数	件	目標	-	-	0	0	-
		実績	0	0	0	0	-
クラブ活動参加延べ人員	人	目標	-	-	200	250	250
		実績	246	232	256	264	

<備考：活動の概要（当該事業年度）>

- 危険物安全協会は、危険物災害防止啓発活動として、ポスター等の作成を実施した。
- 女性消防クラブは、毎月の広報活動の他、防災講習会の講師等を務めた。

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

消防の広域化が決定し、事務局の変更等を含め、取り巻く環境が大きく変化することとなった。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>

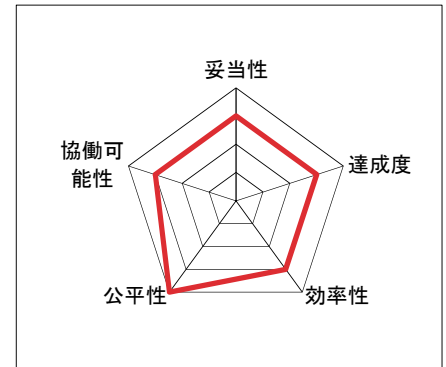
- それぞれの団体による補助対象事業は、長年の積み重ねにより、成果も出ているので継続しつつ、新たな事業を実施できるよう促し、補助事業を推進していく。
- 新たなクラブ員の加入を促進し、活動に幅を持たせ、さらに地域へ入っていけるように補助する。

(何をどのような状態に改善したのか)

各団体に、今後の事業展開を検討するよう促したが、今後の課題として残っている。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)

それぞれの団体が実施する災害の発生防止等を推進する事業を補助することで、地域消防防災力の向上を図っている。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)

事業経費に対する補助が主眼となる部分があるので、事業効果にも評価の目を向ける必要がある。

## 7. 今後の方向性

縮小

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

- 危険物安全協会への補助事業は、本市事業から尾三消防組合へ移行した。
- 女性消防クラブは、事務局が新体制になることと、拠点が消防本部から市役所に移ることで、事業活動に支障がでることが予想されるので、現状を見定める必要がある。